

議会だより ふたば

第151号
令和7年6月

発行：双葉郡双葉町議会
編集：双葉町議会報編集委員会
〒979-1495
福島県双葉郡双葉町大字長塚字町西73番地4
☎ (0240) 33-0309



笑顔も満開！ 友好都市加須市の伝統・騎西藤まつり



主 な 内 容

- 令和7年第1回定例会
 - ・このようなことが決まりました…………… P 2～3
 - ・採決状況・議員発議・陳情のゆくえ…………… P 4～5
 - ・一般質問…………… P 6～10
- 令和7年第2回臨時会・議会全員協議会…………… P11
- 議会のうごき…………… P12



が決められました

令和 7 年度一般会計当初予算

総額 162 億 4 千万円

前年度より 3 億 9 千万円 ↑ UP

令和 7 年第 1 回議会定例会は、3 月 11 日から 18 日までの 8 日間の日程で開かれました。

条例の制定・改正、工事請負契約の締結、工事に係る協定の変更、令和 6 年度補正予算、令和 7 年度当初予算、教育長及び監査委員の選任同意、議員発議などが提出され、いずれも全会一致で原案のとおり可決されました。

内容は次のとおりです。

会 計		予 算 額	前 年 度 比
一 般 会 計		162 億 4 千万円	3 億 9 千万円 ↑
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	12 億 9,163 万 2 千万円	2,283 万円 ↑
	公 有 林 整 備 事 業	106 万 4 千万円	29 万 7 千万円 ↓
	介 護 保 険	10 億 2,336 万円	2,282 万 3 千万円 ↓
	後 期 高 齢 者 医 療	9,967 万円	490 万 9 千万円 ↑
下 水 道 事 業 会 計		9 億 3,496 万 2 千万円	3 億 1,404 万 4 千万円 ↑

※詳しい内容は広報ふたば 5 月号をご覧ください。

契約の締結

目 的 双葉駅東地区商業施設建設工事（その 2）
 方 法 指名競争入札
 金 額 50,600,000 円
 相手方 双葉町大字長塚字町 48 番地
 田中建設株式会社
 代表取締役社長 木下 弘行

令和 6 年度 一般会計補正予算

事業費の確定等により多くの科目で減額となりましたが、基金積立金等の追加により、増額補正となりました。

15 億 4,926 万 5 千万円追加
 （総額 201 億 8,104 万 2 千万円）

協定の変更

協定名 深谷こ線人道橋撤去工事に係る協定
 変更前 契約金額 273,900,000 円
 変更後 契約金額 303,895,900 円
 （協定の相手方 東日本旅客鉄道株式会社水戸支社）

人 事

双葉町教育委員会教育長の選任（再任）
 （任期：令和 7 年 4 月 1 日～令和 10 年 3 月 31 日）

たてした あきお
 ・館下 明夫 氏（長塚二）

双葉町監査委員の選任（再任）
 （任期：令和 7 年 4 月 1 日～令和 11 年 3 月 31 日）

いしかわ たけひこ
 ・石川 雄彦 氏（下長塚）

**第1回
定例会**

3月11日～18日

このようなこと

条例の制定・一部改正

- **令和7年度東日本大震災等による被災者に対する町税等の減免に関する条例の制定**
東日本大震災及び原子力災害により被災した納税義務者の税負担等の軽減を図るため制定。
- **双葉駅東地区商業施設の設置及び管理に関する条例の制定**
町内の生活環境の向上及び賑わいの創出に資することを目的として整備を進めている公設商業施設について、その設置及び管理の方法を定めるため、地方自治法第244条の2第1項の規定に基づき制定。
- **双葉町刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定**
刑法等の一部を改正する法律の施行により、「懲役」及び「禁錮」が廃止され、「拘禁刑」が創設されることから関係条例の一部を改正。
- **双葉町職員定数条例の一部改正**
地方自治法及びその他の法令等の規定により、他の地方公共団体等から派遣された職員について定数外とすることができるよう改正。
- **職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正**
育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部改正に伴い、勤務環境の整備に関する措置ができるよう改正。
- **職員の給与に関する条例の一部改正**
令和6年人事院勧告及び福島県人事委員会勧告を踏まえ、給料表及び各種手当の支給額等を改正。
- **双葉町企業誘致条例の一部改正**
操業奨励金の拡充や雇用促進奨励金の要件緩和などにより、新たな企業進出を促すとともに、既存事業者の町内での事業再開を更に後押しするため改正。
- **双葉町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正**
「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」の改正に対応するとともに、所要の規定整備を行うため改正。



3月定例会の採決状況

件 名	議席 番号	1	2	3	4	5	6	7	8
	議決 結果	渡部 昭洋	山根 辰洋	小川 貴永	伊藤 哲雄	作本 信一	菅野 博紀	高萩 文孝	岩本 久人
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出請願（日本労働組合総連合会福島県連合会双葉地区連合会）	採 択	○	○	○	○	○	○	○	—
令和 7 年度東日本大震災等による被災者に対する町税等の減免に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
双葉駅東地区商業施設の設置及び管理に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
双葉町刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
双葉町職員定数条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
双葉町企業誘致条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
双葉駅東地区商業施設建設工事（その 2）請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
深谷こ線人道橋撤去工事に係る協定の一部変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
令和 6 年度双葉町一般会計補正予算（第 6 号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
令和 6 年度双葉町国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
令和 6 年度双葉町介護保険特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
令和 6 年度双葉町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
令和 6 年度双葉町下水道事業会計補正予算（第 3 号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
令和 7 年度双葉町一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
令和 7 年度双葉町国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
令和 7 年度双葉町公有林整備事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
令和 7 年度双葉町介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
令和 7 年度双葉町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
令和 7 年度双葉町下水道事業会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
双葉町監査委員の選任について	同 意	○	○	○	○	○	○	○	—
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任答申	○	○	○	○	○	○	○	—
双葉町教育委員会教育長の任命について	同 意	○	○	○	○	○	○	○	—
双葉町議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書案	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席

議員発議

請願の採択を受け、作本議員より下記のとおり意見書（案）が提出され、全会一致で可決し関係機関に意見書を送付しました。

福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書

令和6年春闘結果での賃上げ率は33年ぶりの定昇込み5%台の賃上げを実現した一方で、中小組合の賃上げは定昇込み4%台にとどまり、生活が向上したと実感している人は少数にとどまり、個人消費は低迷している。そのことは、物価高が勤労者家計を圧迫してきたことに加えて、中小企業や適切な価格転嫁・適正取引が進んでいない産業などで働く多くの仲間にこの流れが十分に波及していない状況にあり、賃上げと適切な価格転嫁・適正取引のすそ野が広がらなければ、デフレに後戻りする懸念すらあり、最低賃金近傍で働く者の暮らしは厳しい状況にある。

社会や産業・企業を維持・発展させるべく、中長期を見据えた「人への投資」が不可欠であり、ステージ転換に向けて大きな一歩を踏み出した今こそ、「賃金も物価も上がらない」というこれまでの社会的規範を変えなければならない。

さらには、人手不足を補うため雇用形態の多様化は依然として存在しており、低賃金・長時間労働など問題を解消すべく、福島県の人口流出抑制策となる最低賃金の引き上げと早期発効は重要な政策と考える。

よって、双葉町議会は福島県の一層の発展をはかるため、「賃金の経済政策」となる福島県の最低賃金引き上げに関する次の事項について強く要望する。

1. 福島県最低賃金を速やかに時給1,000円に到達させること。

特に、国際情勢に起因する物価上昇と円安の影響は、働く者の生活をより厳しくしており、最低賃金の着実な引き上げは継続する必要がある。また、新総理の所信表明演説における2020年代に全国平均を1,500円となることを目指すと述べた積極的な姿勢を重く受け止めていただきたい。

2. 中小企業等が、原材料価格やエネルギーコストのみならず、最低賃金引上げ原資の確保を含め、サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配、働き方も含めた「取引の適正化」の定着に向け、「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」の周知・浸透の強化を図り、指針に沿った適切な企業行動となるよう促されたい。

3. 最低賃金引上げは賃金の多寡と人口移動の相関関係も示されており、労働力確保や人口流出抑制等も多様な政策誘導として取り組むこと。

4. 福島県最低賃金の改定諮問時期は、労働者間の均衡や景気への影響も考慮し、可能な限り早期の発効に努めること。

5. 最低賃金の改定額を踏まえ、公契約における賃金や労働条件に下方圧力がかかることのないよう、賃金保証型（ILO第94号条約に準拠）を基準条項に盛り込ませた公契約条例制定の検討を行うこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年3月18日

内閣総理大臣

厚生労働大臣 宛

福島労働局長

福島県双葉町議会

陳情のゆくえ

「双葉町駅西住宅内又は双葉町駅西住宅から徒歩圏内に遊具または公園の早急な設置を求める陳情」（双葉駅西住宅管理組合）

→産業厚生常任委員会に付託され、閉会中の継続審査中です。

議会の定例会は年4回

（3月、6月、9月、12月）開催されます。

傍聴もできますのでお気軽にお越しください。
6月定例会の日程は、ホームページでお知らせいたします。

【お問い合わせ先】議会事務局

☎0240-33-0309

傍聴規則を変更しました▶



町政に切り込む!

一般質問

一般質問とは、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行の状況及び将来に対する方針等について所信をたずねるものです。

ここでは 3 月定例会に行われた一般質問の中で、特に注目したい質問を取り上げます。



【 山根 辰洋 議員 】

1. 営農再開の道筋について
2. 町内居住者の増加に向けた取組方針について
3. 町内に再開する学校におけるカリキュラムの検討状況について



【 渡部 昭洋 議員 】

1. 公共事業における地元事業者活用の取り組みについて
2. 駅周辺におけるトイレの増設について



【 菅野 博紀 議員 】

1. 原子力損害賠償について
2. 町内での除染及び中間貯蔵施設について



【 伊藤 哲雄 議員 】

1. 子育て世代への施策について
2. 特定帰還居住区域の除染・解体等について





山根 辰洋 議員

答

問

喫緊の課題は住民の受け皿としての住宅の確保を最優先に進めることである

町内居住者の増加について、目標達成のために
大胆な取組も必要ではないか



動画でも視聴可能です。

●町内居住者の増加に向けた取組方針について

質問

町は令和12年ごろの町内居住人口を二千人程度とするという目標を掲げている。特定復興再生拠点区域の避難指示解除から2年6

カ月が経過する時点で、町内居住者は約180人となっており、町内の居住者の増加には多くの課題があり、大胆な取組が必要だと考えるが、目標達成のためにどのような取組を考えているか、町の考えを伺う。

町長答弁

町が取り組むべき喫緊の課題として、住民の受け皿としての住宅の確保を最優先に進めることが重要であ

ると考えている。今後の住宅整備の方向性を検討するため、住宅ニーズ調査を実施している。住宅需要を把握・分析し、引き続き、住宅の確保に全力で取り組んでいく。

また、駅東地区を公共商業、住居機能の充実による拠点性の強化を図るエリアとして位置付け、公共施設の整備と民間開発の誘導を積極的に進める方針である。

再質問

居住人口を増やしていくために、ビジョンやコンセプトを明示するような取組も必要であり、双葉町が持つ文教のまちという開発コンセプトを改めて打ち出していくこともあり得る。また、県立双葉高校の再開について、これ

町長答弁

まで町としてアプローチしたことがあるか、元道立奥尻高校が町立化した事例のように、双葉高校の町立化について議論する可能性があるか、町長の考えを伺う。

双葉高校については、大正時代ごろ、当時町が負担をして旧制中学校を建てたことが始まりであると聞いており、それだけ町の思い入れの強い高校であるが、震災前に7万人いた双葉郡の人口が2万人程度となっており、まずは人口が増えることが学校再開に向けての1つのステップになると考えている。町立化の議論よりまずは県立高校として再開することが1つの取組であり、どうしてもかなわない時に、町立化も選択肢の1つになってくる。まず

再々質問

は町としては人を呼び込むことを先行して行いたい。

住んでいる人だけではなく、多くの双葉高校の関係者がいると考えると、学校という機能だけではなく町に波及する効果も高い可能性があり、町としてこの学校の大事さを考え、まちづくりの施策として考えていくことも必要だと考えるが、町長の見解を伺う。

町長答弁

双葉高校の再開にはベースとなる人たちが戻ってこないとなかなか考えている。文教のまち双葉は、先人たちが掲げてきたものであり、それを忘れることなくまちづくりに取り組んでいきたいと考えている。

<山根議員のその他の質問（概要）>

●営農再開の道筋について

質問：営農再開について想定される課題と、どのような手段を講じて道筋をつけるか町の考えを伺う。

町長答弁：担い手の確保と、農業の基盤整備という大きな2つの課題を克服する必要がある。

再質問：まずは小規模的に営農再開することに対して支援の考えがあるか。

町長答弁：要望があれば基盤整備で大規模化し省力化を図る考えであるが、小規模的に再開するとなると収益性の問題で作る品目が重要になってくる。

再々質問：小規模的に営農再開する上で、農業以外の商業等の分野との連携が必要なのではないか。

町長答弁：スタートしたばかりであり、6次化の取組も含めて、今後検討が必要である。

●町内に再開する学校におけるカリキュラムの検討状況において

質問：グローバル人材育成を目指した英語教育の充実などについて、どのようなカリキュラムを通じて教育環境を整えていくか伺う。

教育長答弁：具体的な教育課程やカリキュラムの策定を令和7年度から本格的に取り組んでいく。

再質問：生涯学習分野との連携について伺う。

教育長答弁：いろんな人材の方が入って子供たちと一緒に学べるような、伝統を継承してもらえるような、カリキュラムづくりを検討していきたい。



渡部 昭洋 議員

●駅周辺におけるトイレの増設について

質 問

町内においては、今後も駅周辺でのイベント開催や視察等による来町者の増加が見込まれる。また、夏に向けては猛暑を避けて早朝のお墓参りも増加すると予想される。その際に24時間安心して利用できるトイレが不足していると感じているが、今後の駅周辺でのトイレの増設または改修の計画について伺う。

町長答弁

現在、来町された方に対して双葉駅に隣接するコミュニティセンター

問

答

JR双葉駅周辺のトイレの増設や改修計画について伺う

コミュニティセンターの改修、役場庁舎北側の商業施設の外部など計画的な配置を進めていく

的な配置を進めていく。



▲ 役場庁舎北側に建設中の商業施設（スーパーマーケット）

再質問

日本では大きな震災が多数発生している。災害に備えて現在全国で約30の自治体がトイレトレーラーを導入している。今のトイレトレーラーは衛

生的にも優れた太陽光発電を備えており、ウォッシュレットや冷暖房も利用で

きる。町でも国の補助金やクラウドファンディング等を利用した購入を検討し、駅周辺やイベントに利用しては如何か。

また、能登半島地震では所有自治体のトイレトレーラーがいち早く駆けつけ利用していたのを見て、素晴らしい取り組みと感じた。双葉町も大きな震災を経験した町として、いち早く対応しなければならぬし、使命であると感ずるが、トイレトレーラー購入の検討の有無を伺う。

町長答弁

経費的にどのくらいかかるかを精査し検討したい。

<渡部議員のその他の質問（概要）>

●公共事業における地元事業者活用の取り組みについて

質 問：今後の地域経済の活性化を考え、地元事業者を活用することが雇用の創出や地域の人々の生活向上に寄与することとなり、さらに今後の町を支えていく重要な要素であると考え。工事等を受注した事業者に対して、地元事業者を優先的に選択していただくよう促すことは効果的な方策だと考えるが町長の考えを伺う。

町長答弁：工事等を受注した事業者に対して、下請け事業者の選定や工事用資材等の調達に関して、可能な限り、町内事業者を活用するよう促す。

再 質 問：プロポーザル方式で事業者選択の場合には、審査項目に地域への貢献度が加点対象として入っているはずだが、履行されたか検証はしているのか伺う。

町長答弁：実際にそれを実施されたか評価の仕組みが現実にはない。町として出来る範囲は限られているが、受注した事業者にお話し、ルールに沿った中で地元事業者活用に取り組む。



動画でも視聴可能です。



菅野 博紀 議員

答

問

法律で担保されたものであり、しっかりと
取り組んでいく

中間貯蔵施設の県外最終処分は最優先に取り組むべき
問題ではないか



動画でも視聴可能です。

●町内での除染及び中間貯蔵施設について

質問

双葉町内の全域除染はいつ終わるのか、また、中間貯蔵施設の除染土壌は、当初の予定通り30年で県外搬出まで終わるのか、国や県との協議内容について伺う。

町長答弁

町内での除染について、帰還困難区域のうち特定帰還居住区域については、2020年代に希望する町民の帰還を実現するべく除染等の取り組みが進められている一方で、特定帰還居住区域外に残されている土地や家

屋等の扱いについては、いまだに具体的な方針が示されていないが、町としては、発災からこれまで町全域の避難指示解除を求めている方針は、いささかも変わっており、国に対しては、帰還困難区域全域の避難指示解除に向けた方針を具体的にかつ速やかに示すよう今後も強く求めている。

中間貯蔵施設の県外搬出については、今年度中に策定する再生利用の基準等を踏まえ、再生利用の必要性、安全性について、メディアを通じた情報発信や、現地見学等を通じて、理解醸成を図っていくとの説明を環境省から受けているが、理解醸成が進まないことに強

再質問

中間貯蔵施設の県外最終処分というのは、法律で担保されている。この問題は最優先で取り組むべきと考えるが、町長の考えを伺う。

町長答弁

まずは、県内外の理解醸成、首都圏の理解醸成が大切な条件と考える。中間貯蔵施設の県外搬出と帰還困難区域の全域避



▲議会全員協議会で、環境省から中間貯蔵施設事業の状況等について説明を受けた(令和7年3月18日)

難指示解除は法律で担保されたものであり、間違いない。国はその約束をしている。私の任期中にしっかりと取り組むべき問題であり、今後この立場になる人たちに託しても継続して取り組んでいかなくてはならない問題だと思っている。

<菅野議員のその他の質問(概要)>

●原子力損害賠償について

質問：町民と原子力損害賠償紛争審査会との意見交換会について、どのような返答が来ているのか、返答を受けての町の対応を伺う。

町長答弁：事務局である文部科学省原子力損害賠償対策室と町担当課との打ち合わせの場において、文部科学省は現地視察を現地の被害者の方の生の声を聞く非常に貴重な機会ととらえており、住民との意見交換の場については各自治体の要望を踏まえ工夫するとの返答を得ている。町としては改めて意見交換会の開催を申し入れた。

再質問：とりあえずの賠償が基準になってしまい、被害状況にあった賠償が行われていない。行政が個人の賠償に介入できないというのは分かるが、原子力賠償紛争審査会の責任は重いので、意見交換を開催できるよう尽力いただきたい。

町長答弁：町民の方がまだ戻られていない、戻れない状況に置かれているというのは私も感じている。今の状況に町民の皆さんが満足しているかというと、満足している状況ではないと考えている。町としてしっかりと取り組むべきものは取り組んでいきたい。



伊藤 哲雄 議員

問

子育て世代の移住定住促進も含めた
支援策について伺う

答

双葉町子ども計画の策定を進めており、子どもの健やかな
成長と子育て世代をこれまで以上に支援していく

●子育て世代への施策に
ついて

質問

先般、令和10年4月に町内に新しい学校が、開校予定と説明があり、学校開校に向けて子育て世代への支援策について、検討する必要があると考える。現時点で、子育て世代の移住定住促進も含めた支援策について、町ではどのように検討されているのか伺う。

町長答弁

これまで双葉町第二期子ども・子育て支援事業計画に基づき、子どもと子育てを支援する取組を進めてきた。現行計画が

再質問

終期を迎えることから、令和7年度から5年間を計画期間とする「双葉町子ども計画」の策定を進めているところであり、子どもの健やかな成長と子育て世代をこれまで以上に支援していく。

移住定住促進を含めた具体的な支援策としては、避難先の幼稚園等に通う場合の保育料助成はもとより、帰還や移住による町内居住者の区域外就園支援としても幼児教育・保育実施負担金を拡充するほか、子ども医療費助成や出産祝金、出産・子育て応援事業などを継続する。また、昨今の物価高騰による子育て世代への負担軽減を図るため、地方創生臨時交付

町長答弁

金を活用し、子ども手当受給世帯に対して給付金を支給する。

り働きかけることにより、小児医療も対応していただける施設になるのではないかと考えている。

婚活支援に関しては現在も行っているが、成果に結びつくような取組を考えていかなければならないと思っている。

移住定住支援については、旧三宮田中医院が移住定住相談センターとなっており、移住した方また移住しようとしている方がどのような支援を期待しているのか、しっかりヒアリングをして、その対応、対策をしたい。



<伊藤議員のその他の質問（概要）>

●帰還居住区域の除染・解体等について

質問：特定帰還居住区域について、町が把握している同区域の除染解体の状況及びインフラ整備の状況について伺う。

町長答弁：除染の状況については、下長塚・三字・羽鳥行政区を中心に、地権者等の把握や事前の現地調査を進め、順次除染・解体を進めていると聞いている。インフラ整備については、下長塚・三字・羽鳥行政区において、町道の災害復旧工事が完了し、上水道の復旧については、来年度より計画的に通水試験を行うとともに、管路復旧に向けて修繕等工事と老朽管更新工事を進めていくと双葉地方水道企業団より報告を受けている。下水道の復旧について山田・鴻草行政区において、上水道の復旧に合わせた災害復旧工事を順次進めていく。

再質問：旧特定復興再生拠点区域の避難指示解除に11年5カ月を要した。特定帰還居住区域の解除までの想定期間を伺う。

町長答弁：旧特定復興再生拠点区域も計画の認定からは約5年で避難指示解除となっている。特定帰還居住区域に関しては国との約束であるので当然2020年代に避難指示解除までしっかり取り組んでいただけるものと考えている。



動画でも視聴可能です。

令和7年第2回議会臨時会

5月15日

条例等の改正

- 双葉町税条例の一部改正
- 地方税法施行令等の一部を改正する政令の施行に伴い、町税の課税事務において所要の整備を行うため改正。
- 双葉町国民健康保険税条例の一部改正
- 地方税法施行令等の一部を改正する政令の施行に伴い、国民健康保険税の課税事務において所要の整備を行うため改正。
- 双葉町議会会議規則の一部改正
- 当町の現状を踏まえるとともに、開かれた議会の実現と住民等が傍聴しやすい環境を確保する観点から、会議の開始時間を9時30分に変更するため改正。

契約の締結

目 的

養液栽培施設敷地造成工事

方 法

指名競争入札

金 額

198,000,000円

相手方

双葉町大字細谷字陳場沢227-20
株式会社伊藤工務店
代表取締役 伊藤 和之

件 名	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8
	議決結果	渡部昭洋	山根辰洋	小川貴永	伊藤哲雄	作本信一	菅野博紀	高萩文孝	岩本久人
専決処分の承認について 専決第1号 双葉町税条例の一部改正について	承認	○	○	○	○	○	○	○	—
専決処分の承認について 専決第2号 双葉町国民健康保険税条例の一部改正について	承認	○	○	○	○	○	○	○	—
養液栽培施設敷地造成工事請負契約の締結について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適任答申	○	○	○	○	○	○	○	—
双葉町議会会議規則の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	—

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席

全員協議会

3月18日

- 放射性物質分析・研究施設第2棟に係る事前了解について【住民生活課・福島県ほか】
- 中間貯蔵施設事業の状況等について【環境省】



双葉町議会ホームページでは、本会議の日程、議会会議録（平成23年以降）などを掲載しています。

双葉町議会

検索

双葉町議会のホームページはこちら ➡



議会インターネット中継はこちら ➡



議会のひしき

3 月

1 日 県立ふたば未来学園中学校・高等学校卒業証書授与式
 4 日 議会運営委員会
 議会全員協議会
 11 日～18 日 令和 7 年第 1 回定例会
 総務教育常任委員会
 産業厚生常任委員会
 議会全員協議会
 議会運営委員会

13 日 双葉中学校卒業証書授与式
 21 日 町立双葉南・北小学校卒業証書授与式
 生徒海外派遣事業に係る成果報告会

22 日 双葉町民ゴルフ大会
 23 日 加須市合併 15 周年記念式典
 27 日 双葉駅東地区商業施設建設工事(その 2) 安全祈願祭

双葉地方広域市町村圏組合
 南部衛生センター焼却施設落成式

4 月

4 日 双葉町相馬流れ山踊り保存会総会
 双葉町女性会総会
 7 日 町立双葉中学校入学式
 町立ふたば幼稚園入園式
 8 日 県立ふたば未来学園中学校・高等学校入学式
 産業厚生常任委員会
 議会全員協議会

22 日 相馬妙見宮初發神社春の例祭
 23 日 復興副大臣と双葉地方町村議会議長会との意見交換会

24 日 双葉地方町村議会議長会議
 双葉町芸術文化団体連絡協議会総会
 議会全員協議会

5 月

3 日 加須市民平和祭
 12 日 全国原子力発電所所在市町村協議会総会
 11 日 標葉郷騎馬会供奉証肩証交付・出陣式

14 日 双葉地方町村議会議長会議
 15 日 令和 7 年第 2 回議会臨時会
 議会運営委員会
 議会全員協議会

17 日 町立幼稚園・小学校合同運動会
 双葉町埼玉自治会定期総会
 23 日 双葉町商工会総会

24 日 標葉郷野馬追祭出陣式
 25 日 双葉町騎馬会町内凱旋行列
 27 日 全国町村議会議長・副議長研修会
 29 日 議会運営委員会
 30 日 双葉地方広域市町村圏協議会定例会

双葉地方土地開発公社理事会



4 月 24 日 双葉町芸術文化団体連絡協議会総会



3 月 11 日 議会定例会の開会前に黙とうを捧げました

編集後記

今回から議会報編集委員を務めさせていただくことになりました。

令和 7 年度がスタートして最初の「議会だよりふたば」となります。

双葉駅を中心とする特定復興再生拠点区域の避難指示解除から間もなく 3 年となりますが、今年の夏には駅前にスーパーマーケットがオープン予定、更に来年春にも双葉町体育館跡地に飲食店舗がオープン予定となっており、少しずつ町の姿を取り戻しております。

みなさまのお声をもとに、よりよい町づくりを進めていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いたします。

今年の夏も厳しい暑さが予想されます。熱中症対策のうえ健康にはくれぐれも留意ください。(渡部)

【編集委員会】

委員長 作本 信一
 副委員長 渡部 昭洋
 委員 山根 辰洋
 委員 小川 貴永

議会だよりへのご意見・ご感想をお寄せください。

双葉町議会事務局

電話: 0240-33-0309

FAX: 0240-33-0310

メールアドレス:

gikai@town.futaba.fukushima.jp